



URWB 動作モードの設定

- [URWB 動作モードの設定 \(1 ページ\)](#)
- [CLI による判別 \(1 ページ\)](#)
- [リセットボタンの設定 \(2 ページ\)](#)
- [イメージ変換の設定 \(2 ページ\)](#)
- [GUI へのアクセス手順 \(3 ページ\)](#)
- [GUI を使用した URWB Catalyst IW9167E の設定 \(4 ページ\)](#)
- [CLI 設定のコミット \(4 ページ\)](#)
- [CLI を使用した IW Service のクラウドマネージドモードおよびオフラインモードの設定 \(5 ページ\)](#)
- [CLI を使用したパスワードの設定 \(初回ログイン後\) \(5 ページ\)](#)
- [GUI を使用した IW Service の設定 \(7 ページ\)](#)

URWB 動作モードの設定

Catalyst 産業用ワイヤレスアクセスポイントは、Catalyst Wi-Fi (AP)、Cisco Ultra-Reliable Wireless Backhaul (URWB)、ワークグループブリッジ (WGB) などの複数のワイヤレステクノロジーをサポートしています。サポートされるモードは、具体的なアクセスポイントによって異なります。

アクセスポイントの OS は、Catalyst Wi-Fi (AP) と Unified Industrial Wireless (UIW) の 2 つの異なるソフトウェアイメージをサポートしています。URWB と WGB は、どちらも UIW ソフトウェアの一部です。アクセスポイントのモードは、アクセスポイントが動作するように設定されているモードに基づいてブート時に決定されます。

CLI による判別

アクセスポイントの OS は、Catalyst Wi-Fi (AP) と UIW の 2 つの異なるソフトウェアイメージをサポートしています。次の show コマンドを使用して、実行されているソフトウェアを判別し、指定されたプラットフォームコードを探します。

```

Device# show version
Cisco AP Software, (ap1g6j), C9167, RELEASE SOFTWARE
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2022 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Thu Aug 18 01:01:29 PDT 2022
ROM: Bootstrap program is U-Boot boot loader
BOOTLDR: U-Boot boot loader Version 2022010100
APFC58. 9A16.E464 uptime is 1 days, 3 hours, 58 minutes
Last reload time : Wed Sep 7 11:17:00 UTC 2022
Last reload reason: reload command

```

`show version` で `ap1g6a` または `ap1g6b` と表示された場合は、アクセスポイント OS が実行されていることを意味します。`show version` で `ap1g6j` または `ap1g6m` と表示された場合は、UIW ソフトウェアが実行されていることを意味します。

アクセスポイントが URWB モードで動作しているかどうかを確認するには、次の CLI コマンドを実行します。

```
Device#show iw-service status
```

このコマンドが存在する場合、アクセスポイントは URWB モードで動作しています。存在しない場合、アクセスポイントは WGB モードで動作しています。

リセットボタンの設定

URWB モードでは、（ブートローダがリセット信号を受信した後に）LED が赤色の点滅に変わると、次のリセットアクションが実行されます。デバイスの電源を入れる前に、必ずデバイスのリセットボタンを押します。

- リセットボタンを 20 秒より短く押すと、既存の設定がクリアされます。
- リセットボタンを 20 秒より長く 60 秒より短く押すと、工場出荷時設定へのリセットがトリガーされます。
- リセットボタンを 60 秒より長く押しても、設定はクリアされません。

イメージ変換の設定

Catalyst IW9167E アクセスポイントを Wi-Fi モード（CAPWAP AP）から URWB モードに、または URWB モードから Wi-Fi モード（CAPWAP AP）に変換するには、次の手順を実行します。

1. CAPWAP から URWB モードに、または WGB/uWGB から URWB モードに変換するには、次の CLI コマンドを使用します。続いてアクセスポイントが再起動され、URWB モードで起動します。

```
configure boot mode urwb
```

2. URWB から CAPWAP モードに、または WGB/uWGB から CAPWAP モードに変換するには、次の CLI コマンドを使用します。続いてアクセスポイントが再起動され、CAPWAP モードで起動します。

```
configure boot mode capwap
```

3. CAPWAP から WGB/uWGB モードに、または URWB から WGB/uWGB モードに変換するには、次の CLI コマンドを使用します。

```
configure boot mode wgb
```



- (注) イメージを変換すると、工場出荷時の状態への完全なリセットが実行され、設定とデータが完全に削除されます。

GUI へのアクセス手順

Web UI（Web ユーザーインターフェイス）にアクセスするには、次の手順を使用します。

1. Web UI にアクセスするには、Web ブラウザを開き、次の URL を入力します：https://<IP address of unit>/
[IW9167E Configurator] または [IW9165 Configurator] ウィンドウが表示されます。
2. 設定ページにアクセスするには、[Username] と [Enable password] のログイン情報を使用します。
3. GUI にログインすると、URWB コンフィギュレータが表示されます。

Cisco URWB IW9165DH Configurator
5.81.160.216 - MESH POINT MODE

ULTRA RELIABLE WIRELESS BACKHAUL

IW Service: Offline
IW Monitor: Disabled

GENERAL SETTINGS

- general mode
- wireless radio
- antenna alignment and stats

NETWORK CONTROL

- advanced tools

ADVANCED SETTINGS

- advanced radio settings
- static routes
- allowlist / blocklist
- snmp
- radius
- ntp
- ethernet filter
- l2tp configuration
- vlan settings
- Fluidity
- misc settings

MANAGEMENT SETTINGS

- remote access
- firmware upgrade
- status
- configuration settings
- reset factory default
- reboot
- logout

GENERAL MODE

General Mode

Select MESH POINT mode if you are attaching an IP edge device (i.e. network camera, encoder, etc.) to this Cisco IOT IW9165DH Series Access Point or if you are using this unit as a relay point in the mesh network.

Mode: ☒ mesh point
☐ mesh end
☐ gateway

Radio-off: ☐

LAN Parameters

Local IP:

Local Netmask:

Default Gateway:

Local Dns 1:

Local Dns 2:

Enable IPv6: ☐

Reset Save

GUI を使用した URWB Catalyst IW9167E の設定

次の画像に、Catalyst IW9167E コンフィギュレータの設定を示します。

The screenshot shows the Cisco URWB IW9165DH Configurator interface. The top header displays the Cisco logo and the title "Cisco URWB IW9165DH Configurator" with the version "5.81.160.216 - MESH POINT MODE". On the left, there is a sidebar with navigation links: "IW Service" (Online), "IW Monitor" (Disabled), "GENERAL SETTINGS" (including general mode, wireless radio, antenna alignment and stats), "NETWORK CONTROL" (including advanced tools), "ADVANCED SETTINGS" (including advanced radio settings, static routes, allowlist/blocklist, snmp, radius, ntp, ethernet filter, l2tp configuration, vlan settings, Fluidity, misc settings), and "MANAGEMENT SETTINGS" (including remote access, firmware upgrade, status, configuration settings, reset factory default, reboot, logout). The main content area is titled "GENERAL MODE" and contains a "General Mode" section with a description: "Select MESH POINT mode if you are attaching an IP edge device (i.e. network camera, encoder, etc.) to this Cisco IOT IW9165DH Series Access Point or if you are using this unit as a relay point in the mesh network." Below this, there are radio buttons for "mesh point" (selected), "mesh end", and "gateway". There is also a "Radio-off" checkbox. The "LAN Parameters" section includes input fields for "Local IP" (10.58.56.56), "Local Netmask" (255.255.255.0), "Default Gateway" (10.58.56.1), "Local Dns 1" (1.1.1.1), and "Local Dns 2". There is also an "Enable IPv6" checkbox. At the bottom, there are "Reset" and "Save" buttons.

CLI 設定のコミット

現在の設定または実行中の設定をローカルストレージまたはメモリに保存するには、`write CLI` コマンドを入力します。変更された値はキャッシュ設定ファイルにあるため、`write` コマンドを入力した後に、デバイスを再起動して現在の設定を有効にします。設定を有効にするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# write
```

または

```
Device# wr
```

`write` または `wr` : 現在の設定をメモリにコミットします。

```
Device# reload
```

`reload` : デバイスをリロードします。

例 :

```
Device# write
```

```
!!! Please reboot to take effect
Device# reload
Proceed with reload? [confirm]
(確認のために入力します)
```

CLI を使用した IW Service のクラウドマネージドモードおよびオフラインモードの設定

IW Service はクラウド管理ポータルであり、デバイスはネットワークを介してクラウドマネージドに接続されます。オフラインモードでは、デバイスは CLI と GUI によってローカルモードで設定され、クラウドには接続されません。

デバイスがオフラインモードに設定されている場合は、次のオプションを選択します。

- CLI と GUI を使用して、デバイスを手動で設定します。
- IW Service クラウドサービスでデバイスを設定して、IW Service からエクスポートされた設定ファイルを選択し、IW Service 管理ページの最後にある設定のアップロードボタンを使用して設定ファイルをアップロードします。

IW Service 設定機能をアクティブまたは非アクティブにするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device#configure iw-service {offline | cloud-managed}
```

cloud-managed : IW Service モードをクラウドマネージドにします。IW Service クラウドサーバーからデバイスを管理できます（ネットワークに接続されている場合）。

offline : IW Service モードをオフラインに設定します。デバイスは IW Service から切断され、CLI またはオフライン コンフィギュレータ インターフェイスを使用して手動で設定する必要があります。

CLI を使用したパスワードの設定（初回ログイン後）

デバイスがオフラインモードに切り替わると（初回ログイン後）、新しいログイン情報を設定する必要があります。GUI または CLI を使用してログイン情報を設定する場合、ログイン情報は次の条件を満たす必要があります。

- ユーザー名の長さは 3 ～ 32 文字にする必要があります。
- パスワードの長さは 8 ～ 32 文字にする必要があります。
- パスワードには、次が含まれている必要があります。
 - 少なくとも 1 つの大文字
 - 少なくとも 1 つの小文字

- 少なくとも 1 つの数字
- 少なくとも 1 つの特殊文字
- パスワードには英数字と特殊文字（33 ～ 126 の ASCII 10 進コード）を含めることができますが、次の特殊文字は使用できません。
 - " [二重引用符]
 - ' [一重引用符]
 - ? [疑問符]
- パスワードに次の要素を含むことはできません。
 - 連続する 3 つの文字または数字（ABC/CBA）
 - 3 つ連続して同じ文字または数字（AAA）または（666）
 - 現在のパスワードまたは既存のパスワードと同じもの
 - ユーザー名と同じものまたはユーザー名を逆にしたもの

例：

デフォルトログイン情報：

```
username: Cisco
password: Cisco
enable password: Cisco
```

ログイン情報をリセットするには、次のサンプルログイン情報を使用します。

```
username: demouser
password: DemoP@ssw0rd
enable password: DemoE^aP@ssw0rd
```

CLI を使ったパスワードの設定例：

```
Device#configure iw-service {offline}
Switching to IW Service  Offline mode...
Will switch from Provisioning Mode to IW Service  offline Mode, device need to reboot:Y/N?
Y
User access verification.
[Device rebooting...]

User Access Verification:
Username: Cisco
Password: Cisco
```

初回ログイン後に、ログイン情報をリセットします。

```
Current Password:Cisco
Current Enable Password:Cisco
New User Name:demouser
New Password:DemoP@ssw0rd
Confirm New Password:DemoP@ssw0rd
New Enable Password:DemoE^aP@ssw0rd
Confirm New Enable Password:DemoE^aP@ssw0rd
```

ログイン情報を変更したら、再度ログインします。

```
User access verification
Username: demouser
Password: DemoP@ssw0rd
Device> enable
Password:DemoE^aP@ssw0rd
Device#
```



(注) 上記の例では、すべてのパスワードがプレーンテキストです。これはデモ用（サンプルログイン情報）です。実際には、パスワードはアスタリスク（*）で表示されます。

GUI を使用した IW Service の設定

次の画像は、IW Service の設定を示しています。

IW Service Management

IW Service Configuration Mode

Provisioning: This is the initial configuration phase. The access point is configured using IW Service ([Industrial Wireless \(IW\) Service US](#), [Industrial Wireless \(IW\) Service EU](#)) if connected successfully or locally if *Offline* mode is selected.

Offline Configuration: This mode allows for location configuration changes locally using the access point WebUI (this interface) or CLI. Configuration is also possible by downloading a single-file configuration from IW Service ([Industrial Wireless \(IW\) Service US](#), [Industrial Wireless \(IW\) Service EU](#)).

Online Cloud-Managed Configuration: in this mode the access point is configured using IW Service ([Industrial Wireless \(IW\) Service US](#) or [Industrial Wireless \(IW\) Service EU](#)). The local WebUI and CLI are read-only.

☐ Online Cloud-Managed ☒ Offline

UPLOAD IW SERVICE CONFIGURATION FILE

Upload Configuration File

Select configuration file exported from IW
Service: No file selected

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。